

～浜松市介護サービス協便り～

◆浜松市介護サービス事業者連絡協議会部会別研修会の報告◆

施設系サービス部会

令和3年11月26日(金)施設系サービス部会研修会が、オンラインにて開催されました。今回の研修は、介護の人材不足、感染症対策、ICTの導入など、介護現場で起きている様々な課題に対し活路を見出していくために、今私達がやるべきことについて、野田由佳里氏にご講義いただきました。

講師：聖隷クリストファー大学 社会福祉学科長 野田由佳里 氏

テーマ：『ここで働きたい』と思える職場・チーム作り

～「LIFE」「ICT」「外国人労働者との協働」から考える、今私達がすべき事～

参加者：80名（参加事業所 47事業所）



【講義内容】

1. 選ばれる施設になるには・・人材の確保と利用者獲得
 - ・職員を守る、そして育てる事に骨惜しみしない。働きたいと思える法人になる。
 - ・職員が地域や学校行事に参加でき、社会貢献とプライベートを充実させる事ができる。
 - ・組織をブランディングする。他法人との差別化、法人への安心感や信頼感を得る。
 - ・キャリアモデルを作る。入職者が先輩職員を見て、憧れや、安心感、こうなりたいという未来が描ける。
 - ・求職者が知りたい情報と、法人が発信する情報がマッチングしているか定期的にチェックする。
2. 私が考える Society5.0

福祉機器やICTの導入により、ケアの幅がひろがる。オンタイムでの情報の入力、共有が可能となり「時間」と「距離」の壁を飛び越えられる。介護機器の利用も介護職の専門性となる。
3. コロナウイルス感染症禍における介護事業所の実態調査

調査分析の結果、心理的負担が大きくなったが、難局を介護現場全体で乗り越えようと、チームの士気が上がったとの意見が多くあった。日本の介護現場でクラスター発生率が少なかったのは、介護現場が優秀だったから。ご利用者と家族の理解を得て、感染対策を徹底してやってきたからこそ、この苦しい状況を乗り越えている。

4. 科学的介護情報システム (LIFE) 導入

LIFE からのフィードバックは、QOL 向上を目指したケア提供、多様な人材でも標準ケアや場面ごとのケアが可能となる。あと 1 年もすれば、LIFE は通常運転になる。Wi-Fi 環境、ICT 機器の設置と共に、導入を牽引するスタッフの存在が大事になる。

5. 介護現場における「サービスの質」基準を設定

介助の項目ごとに意義や目的が記載されている基準書を作る。介助の目的以外に、法人理念や施設として目指すケアの方向性も提示。絶対的な基準を設けて職員全員が到達できるように目指す。

<講師よりメッセージ>

介護の仕事は希望すれば、殆どの方が入職できます。でも、介護の仕事は誰でも続けられる仕事ではありません。思いや志を持って入ってきた職員が、介護の仕事を楽しめる環境で、いきいきと働き続けて欲しいと切に願います。

皆さんにお願いしたいのは、これからも、いいチーム、いい組織、いい法人を作っていくて欲しいということです。私も自身の立場で出来る事を、精一杯楽しみながら頑張ります。

アンケート結果報告

今回のアンケートは、研修当日、終了後にチャットのURLをクリック又は、QRコードを読み取って頂く方式で行い、後日再度アンケートのご協力をメールにて送信しています。結果、参加者 80 名に対しアンケート回答者 39 名で回答率は 48% でした。

アンケート結果は、今後の研修をより良いものとしていく資料として活用させていただきます。ご回答いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

- 満足・どちらかといえば満足を選択の方 90%

共感

- ・現場目線で、エピソードや現場の実態を踏まえた内容で聞きやすかった。介護の仕事は誰もが続けられる仕事ではないという言葉は本当にそうだなと思った。
- ・介護現場の味方をしてくれた。熱意が伝わった。

モチベーションアップ

- ・介護職員を大切にしてくれる言葉が聞けて良かった。
- ・介護職を続けてきて良かったと思わせてくれた。励まされた。
- ・やってみようという前向きな気持ちになった。
- ・チャットを使ったやり取りもあり楽しい講義だった。

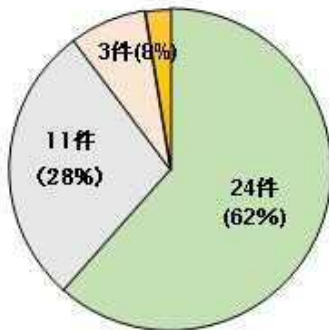
課題解決への糸口

- ・今、まさに取り組んでいる課題で、とても参考になった。
- ・介護をより良くするため、今やるべきことが見えてきた。
- ・地域で選ばれる施設になるための具体策を教えてもらった。

- どちらかといえば不満・不満を選択の方 10%

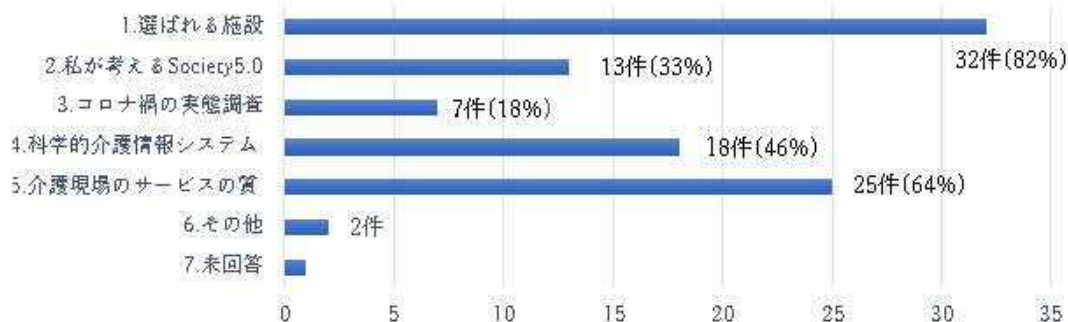
- ・勤務時間外だったから・音声が入らなかった。

研修全体を通した満足度を教えてください。(1つ選択)



- 満足(24件)
- どちらかといえば満足(11件)
- どちらかといえば不満(3件)
- 不満(1件)

今後、職場に活かせると思った内容を教えてください。



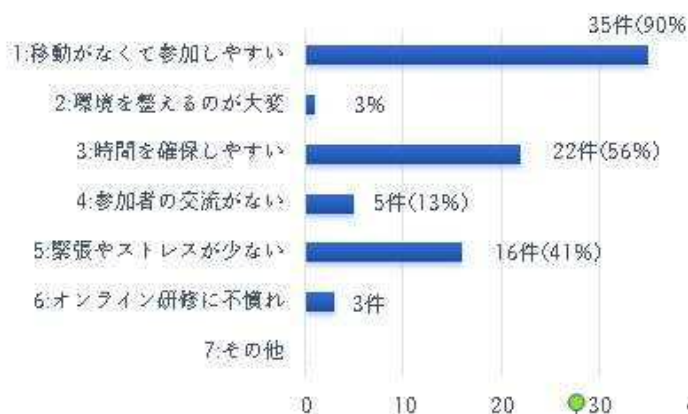
【研修内容について寄せられた、ご意見、ご感想】

- ・社会貢献とプライベートの充実が利用者確保や人材確保に繋がるのは実感している。職員、ご利用者だけでなく、地域の方とのつながりも大切にしていきたいと感じた。
- ・介護マニュアルは手順だけで不十分。基準書の必要性が理解できた。
- ・ICT や LIFE の導入が、ご利用者のケアの質向上に繋がる。抵抗するよりもやってみようと思った。

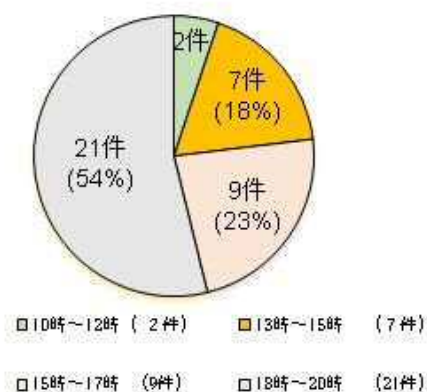
❖ 今後、取り上げて欲しいテーマについて

- ・外国人労働者の雇用について
- ・コミュニケーションスキル
- ・安全対策について
- ・ICTの活用方法と成功事例
- ・人材育成と指導のスキル
- ・アンガーマネジメント
- ・LIFE導入について
- ・虐待防止、抑制について
- ・職員自身のモチベーションの見つけ方

オンライン研修について、ご意見・ご感想をお聞かせください。



オンライン研修について参加しやすい時間帯をお選びください。



時間や移動、緊張やストレスの面でも参加しやすいとの意見が多く、チャットやグループワークなどの機能を利用した参加型研修も楽しいとのコメントもいただいている。環境の整備やオンライン研修に不慣れの意見が少なかった事からも、徐々にオンラインでの研修が浸透してきている事が分かります。

講義にもあった、時間や距離を飛び越えるとの話を実感しつつあり、コロナ終息後もオンライン開催が主流になる事が予測されるアンケート結果となりました。

📌 部会長より総括

今回の研修会では、介護現場での長い勤務経験があり、現在は介護職を養成するお立場の野田先生のご講義をいただきました。

お話の中で、現場で懸命に働く卒業生（介護職員）が組織として守ることが出来ていない実例が紹介され、あらためて“職場全体がチームとなって職員を守る（大切に）”“ことの重要性を認識させられました。

また、「LIFEの導入により介護が将来性のある職場と受け取られ、介護職を希望する入学者が増えた」などのお話も聞き、介護現場の一人ひとりがICTやLIFEの導入に前向きになれるご講義でした。

今回の学びを、ケアの向上と「働きたいと思える職場作り」につなげて行きたいと思っています。

入居系サービス部会

令和3年11月19日入居系サービス部会の研修会が開催されました。

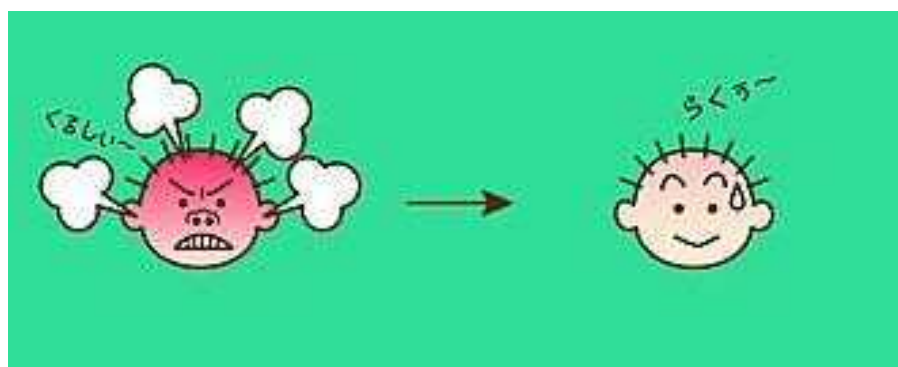
今回は、リモート研修となり、「介護現場のアンガーマネジメント」をテーマに開催されました。

講師は、認知科学を活用したアンガーマネジメント・メンタルトレーニングプログラムの開発などを専門とし、著書も出版されております、アドマック株式会社 アンガーマネジメント静岡教室代表 興津 諦 氏です。

今回の研修では、自分の一時的な感情がどうしてそうなるのかということ「怒りのメカニズム」を理解し、コントロールの仕方やすべきものを学ぶことで、怒りやイライラの感情から「楽になる」というものでした。メカニズムは、とても分かりやすく、反射自体は誰にでも起きていて、足をぶつけて「痛いっ!」というのと同じような感覚だが、コントロールすべきは、反射の後にやってくる「怒りの思考」。この思考は、脳を持つ個々の生き物が危険を察知したときに「身を守る」という、とっさの反射で、生き物にはもちろん必要なものなのですが、私たち人間は、必要以上に反応してしまい、そこから自動的に「怒りの思考」を始めてしまい、自分を正当化し、自分に怒りの反射をさせた相手を「悪い」としてしまうということでした。

相手と自分の要求が反することで、思考は「怒り」として反射してしまうため、さまざまなスキルや考え方を学ぶことで、「怒りを手放し楽になる」ことができるという内容の研修でした。

わかっていてもなかなか難しいことですが、私自身、反射と同時に感情のままに言動に移してしまい、振り返って後悔したという苦い経験があります。後悔の中には、「落ち着いて考えれば、伝えたいことが上手に伝えられたかな」ということもありました。感情のままでは、お互いに理解し合えにくくなってしまいます。



相手に自分の要求をぶつける前に相手の気持ちを考え、話を聞き共感モードに切り替えたり、初めから反応を予測してみたり…

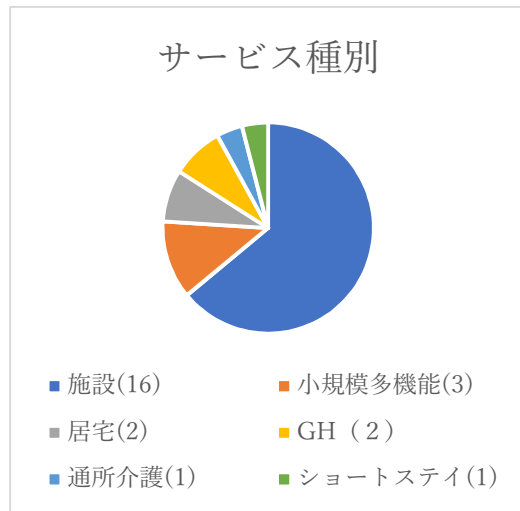
反射的にならないよう対応出来るよう意識していきたいと思いました。

それでも、ひとりひとは違うし、怒るべき時もあるので、怒れる自分も許してあげることも大事。

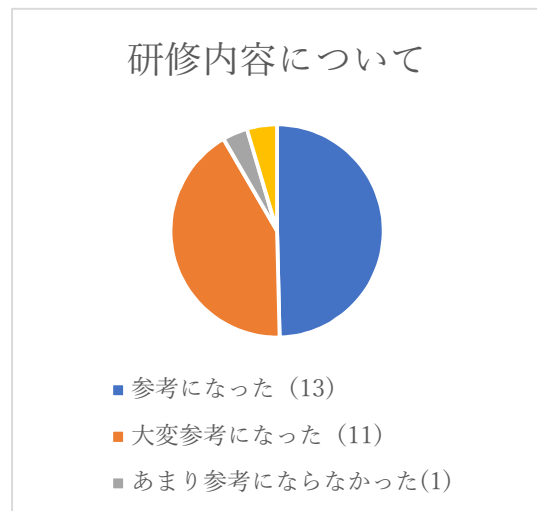
人にも自分にも寛容になって物事を考えていけるようになれたらいいと感じました。

アンケート集計結果（25名）

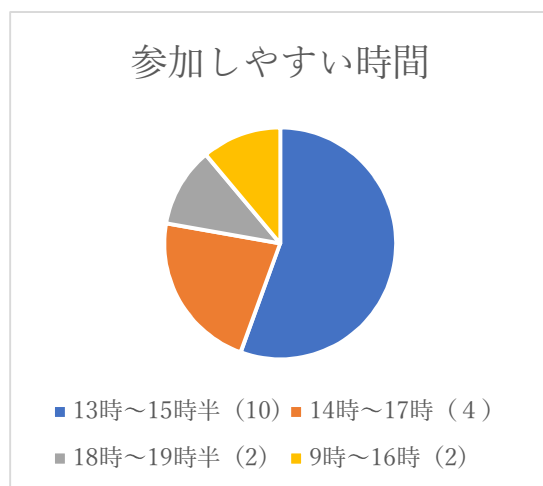
1. サービス種別を教えてください



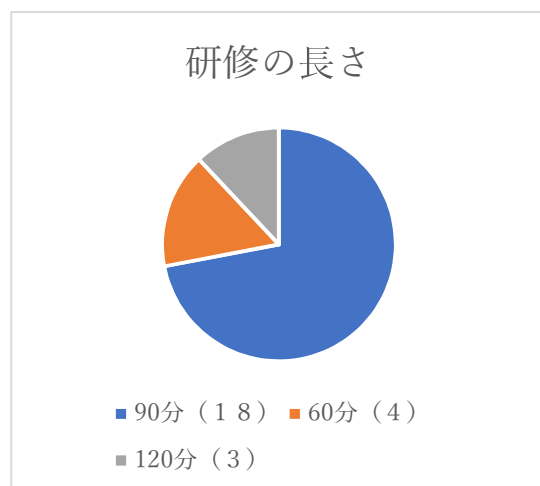
2. 研修内容について



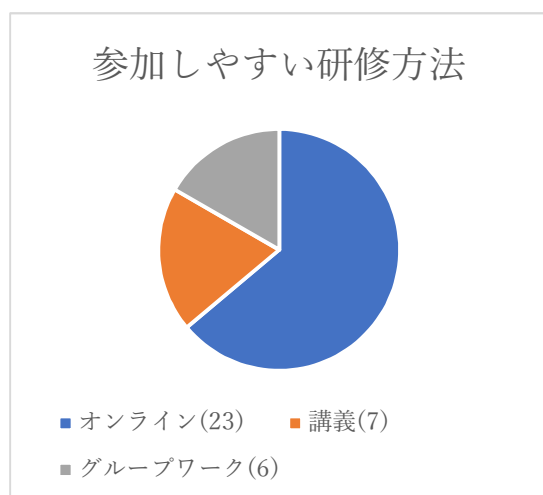
3. 参加しやすい時間帯はいつですか



4. 研修の長さはどの位が適切ですか？



5. 研修方法について



6. 参加したいと思う研修のテーマを教えてください

リスクマネジメント	看取りについて
接遇	アンガーマネジメント
成年後見制度	感情のコントロールの仕方
感染対策（防止）	介護の法律
I C T活用事例	コミュニケーションの仕方（ご家族・ご利用者）
メンタルヘルス	感染症のBCP・シュミレーションの仕方
高齢者虐待防止	苦情対応・家族対応
チームワークの構築方法	身体拘束廃止について
業務改善の考え方	みんなで笑えるレクリエーション
認知症対応	言葉かけ
サービス向上への取り組み	
職員教育	

7. その他ご意見

- ・とても勉強になった研修会でした。職員間で共有し、働きやすい職場づくりを目指していきたいと思います。
- ・大変ためになり、今後仕事（職場）でも楽になれるような気持ちになりました。
- ・研修はオンラインが参加しやすいです。
- ・怒ってはいけないという講座だと思っていました。とても勉強になりました。
- ・仕事や家庭等で、イライラしたときなど、今日の研修を思い出して実践してみたいと思います。有難うございました。
- ・はじめての zoom 研修だったので、パソコン操作が良く分かっておらず、電波の影響で音声聞き取れないことがありました。

福祉用具系サービス部会

令和3年12月7日（火）イオンモール浜松市野シンフォニーコートにて浜松市主催の「高齢者いきいきフェア in 東区」が開催され、福祉用具系サービス部会として介護ロボットを中心に展示してきました。



福祉用具系サービス部会の出店は、今年で2年目になります。今年度の「新商品としてコミュニケーション介護ロボット「LOVOT (ラブット)」と自立推進トレーニングロボット「テクテック」、パワーアシストスーツ「フレアリー」を中心とした展示と、前年同様「電動車いす」「介護ロボット」などを追加した計8点の福祉用具の展示をしました。

午前中は、来場者は少なかったですが、お昼頃からは幅広い年齢層の方が見に来てくださいました。特にコミュニケーションロボットは愛くるしい表情と、しぐさで人気があり、皆笑顔になっていました。電動車いすやセニアカーにも多くの方に試乗いただき、今すぐ必要ではないが体験できて良かった、年々良い商品が出てくるので必要になった時も安心だと、嬉しい声も聞く事ができました。

福祉用具の展示会を通して幅広い年代の方に興味をもってもらい、啓蒙活動ができました。



通所系サービス部会

日時：令和3年11月12日（金）18時～19時

開催方法：オンライン（Zoom）

研修内容

講師：ユニ・チャーム株式会社 小林美穂 氏

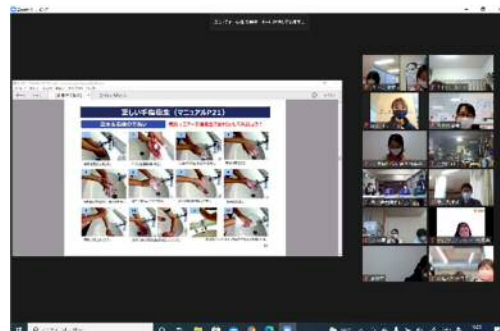
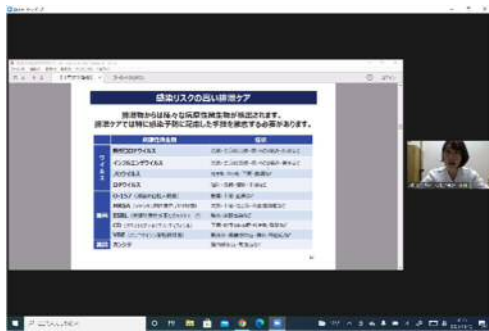
テーマ：利用者と介護者の健康と安全を護る適切な排泄ケア

令和3年11月12日通所系サービス部会研修会がオンライン開催されました。今回の研修会はユニ・チャーム株式会社小林美穂氏をお招きし、「利用者と介護者の健康と安全を護る適切な排泄ケア」をテーマに、感染対策の基礎知識を学びました。

感染リスクの高い排泄ケアとして、排泄物からは様々な病原性微生物が検出されることを念頭に実施すること。そのため排泄ケアでは特に感染予防に配慮した手技を徹底する必要性について説明がありました。

感染対策に配慮した排泄ケアとして、おむつ・パッドの性能を確認してその人にあったものを使用することが重要であると説明がありました。パッドの選択基準として、①吸収力・速い吸収スピード・リウエット②吸収量③付加価値、であるとのことでした。本人の尿量、頻度、皮膚の状態等、日々の状態から考察して、おむつやパッドを選択することで汚染を扱う介護者の感染リスクは低減するとのことでした。（前提として利用者満足度は上がる）

令和3年度研修会は新型コロナ感染症対策として、オンライン開催とさせていただきますが、50事業所145名と多くの方々に参加いただくことができました。ありがとうございました。アンケート結果について、今回の研修に参加した理由として、75%の方が、排泄ケアについて学びたかった。と高評価をいただきました。今後も、アンケート結果について評価を行い次回の研修会に活かしていく所存でございます。引き続き、介護が当たり前にある生活が提供できるよう企画検討してまいります。

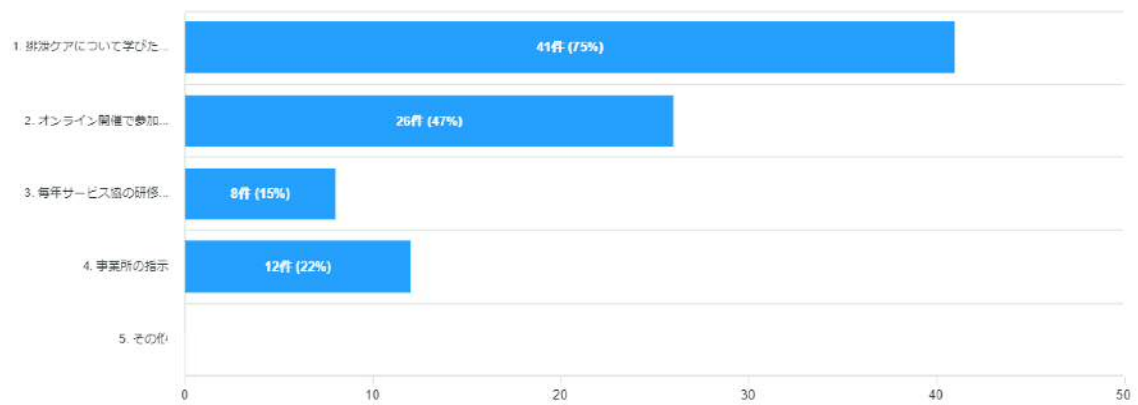


アンケート集計結果

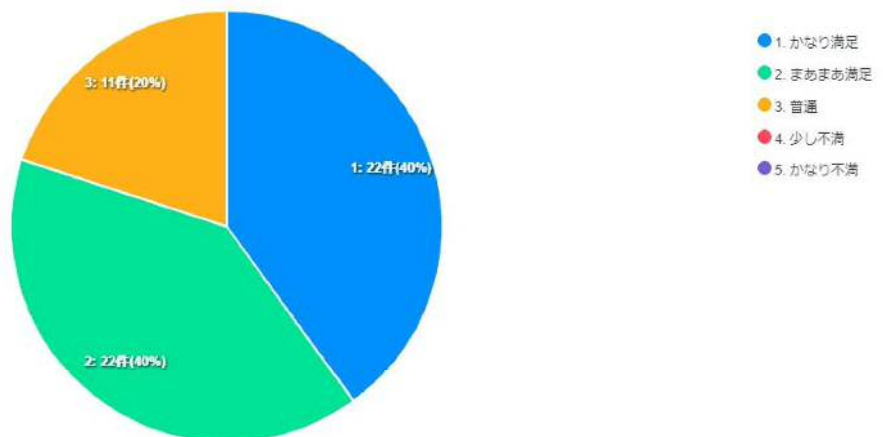
今回の研修会を知ったきっかけを教えてください。(複数選択可)



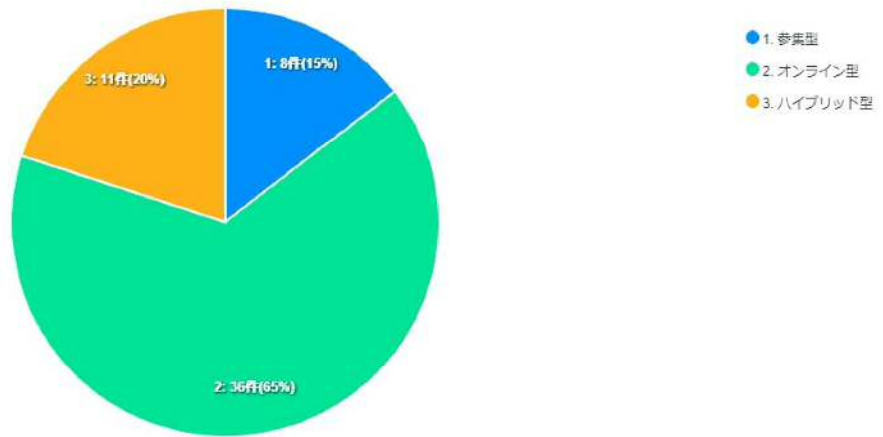
今回の研修に参加した理由を教えてください。(複数選択可)



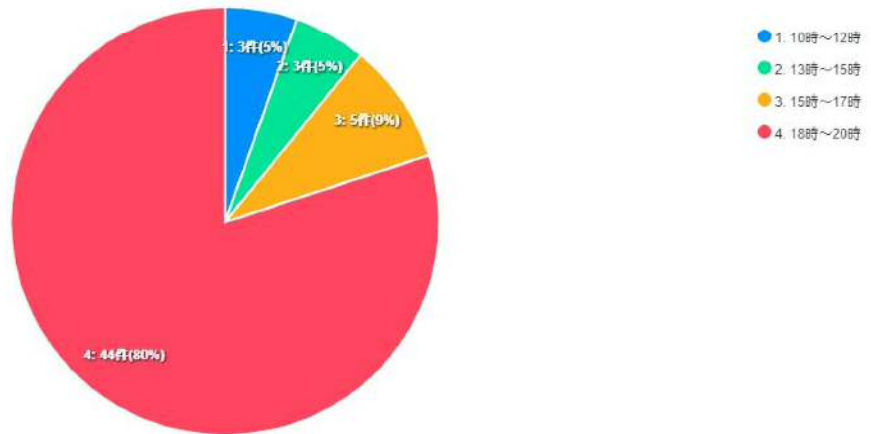
研修内容について、満足度を教えてください。(1つ選択)



今後希望する開催方法をお選びください。(1つ選択)



研修開催時間について、参加調整しやすい時間帯をお選びください。(1つ選択)



訪問系サービス部会

令和3年11月19日（金）訪問系サービス部会研修会をZOOMにて開催いたしました。今回の研修会は、「介護職員のためのセルフコントロール」をテーマに訪問看護ステーション遠州上島の理学療法士の熊崎晃平氏、作業療法士の阿部航平氏にご講演いただきました。

今般のコロナ禍で高齢者の感染は命にかかわるケースも多く、それゆえ、神経を張り巡らせ職務にあたっていることと思います。そこで今回は、介護職員の体にかかるストレスの代表である腰痛対策に加え、心理的ストレス対処法について学びました。

本日の内容

- 1.2025年問題と介護職
- 2.介護士の腰痛
- 3.介護とメンタル



腰痛予防体操

- ①  1. 左足に対して右足を前に交差させ、右膝を両手で押さえます。お尻を後ろに突き出し、左太ももの後面がピンと張るようにストレッチします。
- ②  2. 両手を膝の後ろで組み、そのまま両膝をしっかりと伸ばします。腰が丸くなるように意識して行いましょう。

ストレスマネジメント体操

最後にちよつとした体操でリラックスして終わらしましょう

漸進的筋弛緩法

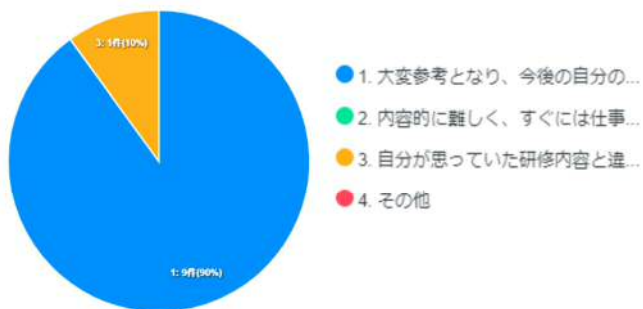
—神経と筋肉の両方を緩めて、リラックスするために使う技法です。



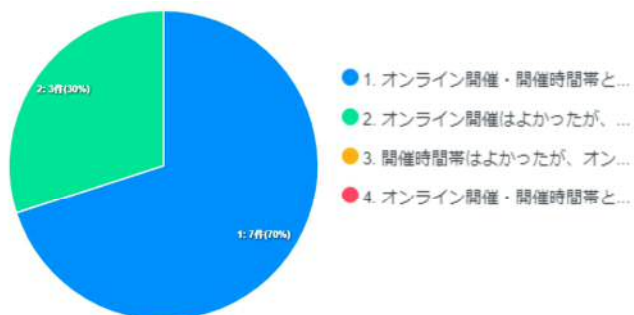
- ①口をすぼめて、前に突き出す。
- ②すぼめた口をゆっくり戻して、元に戻す。
- ①こぶしはしっかり握り、腕を前へ突き出す。
- ②腕から肩に力を入れてゆっくりと引きつける。
- ③ゆっくり腕を伸ばして手のひらを開いて力を抜く。

アンケート集計結果（参加者：12名）

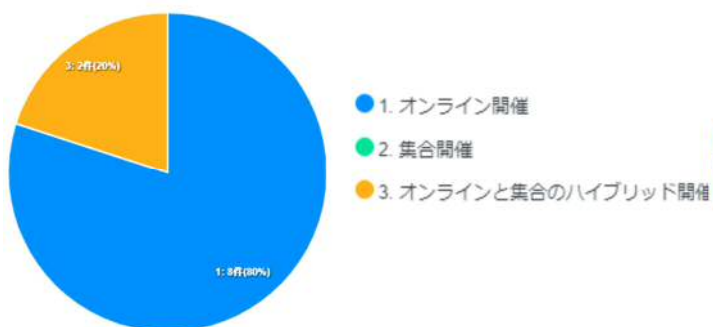
1. 研修内容についての意見・感想等



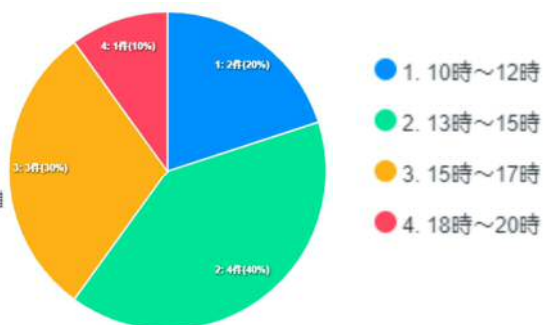
2. 会場と時間帯について



3. 今後の研修会についての開催方法について



4. 参加しやすい時間帯について



5. 今後の研修について

- ・BCP（訪問介護）の作成の仕方や研修の進め方などを教えて欲しいです。
- ・介護技術等実践的なものがあると良いです。
- ・通所施設の研修はありますが、訪問系の研修は少なく、今後も定期的に行っていただくとたいへん助かります。よろしくお願いいたします。

居宅系サービス部会

居宅系サービス部会研修会を、令和3年8月30日「令和3年度版ケアマネジャー実務ガイドブック説明会」をZoom使用し、浜松市介護支援専門員連絡協議会の役員がガイドブックの説明を行いました。令和3年12月16日「ケアマネジャーが知っておくと便利な障がい福祉サービス豆知識」をテーマにZoomを使用し、前半は、浜松市中障がい者相談支援センター所長 藤川晴海氏に障がい福祉の仕組み等についてのご講演いただきました。後半は、障がいとの関わりで苦労したことや困っている点などを、グループワークで活潑な意見交換を行いました。

説明会は、5年以上経験のあるケアマネジャーの参加も多く、改めて制度等を確認することができました。昨年度は、ガイドブックの販売しか行えませんでした。連絡協議会としても苦労して作成したガイドブックの販売・説明会を開催することができ、ケアマネジャーの業務に少しでも役立てて頂きたいです。

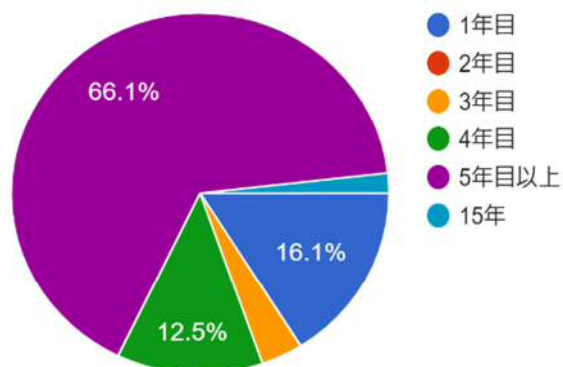
障がい福祉サービスの研修会は、皆様にとって興味のあるテーマだったようで、大勢のケアマネジャーが参加して下さいました。障がい福祉サービスの内容や役割を理解することができ、自立支援に向けた相談援助が行えるよう、障がい福祉との連携を学べる場となりました。

「令和3年度版ケアマネジャー実務ガイドブック説明会」アンケート集計

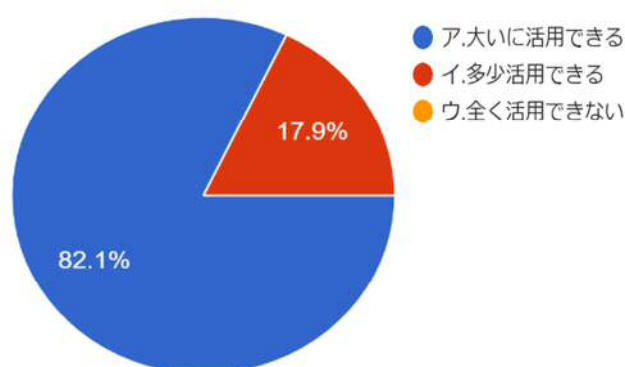
令和3年8月30日（月）13：30～15：30（120分）Zoom開催

・参加者：79名 ・アンケート回答：56件 ・回収率：70.9%

1, 経験年数



2, ガイドブックの感想



3, 「令和3年度版ケアマネジャー実務ガイドブック説明会」へのご意見等

- ・区分変更等、手続きのタイミングがわからなかったりするので、こういう冊子があるとありがたいです。
- ・改めて知ることもありました。ありがとうございました。

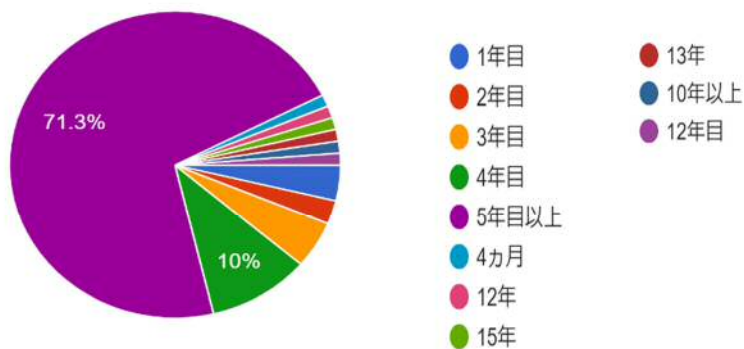
- ・変更・追加事項について、明確にしていただけると分かりやすいです。
- ・現物を見ながらであり、参考になりました。
- ・今まで知らなかった、申請用紙の存在を知れる。うろ覚えの箇所の再確認ができた。日常的に行っている業務の再確認ができた。
- ・例えがあると分かりやすかったと思います
- ・説明会を聞く事で、理解が深まりました。
- ・ZOOMでの開催、大変だったと思います。みなさんご苦勞様でした。大変勉強になりました。
- ・法改正により大変な作業だったかと思います。詳しい内容ありがとうございました。

「ケアマネジャーが知っておくと便利な障がい福祉サービス豆知識」

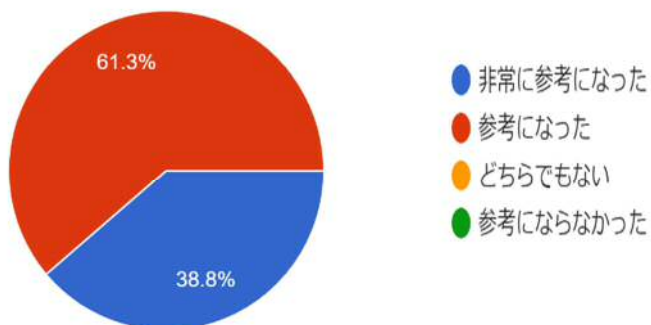
令和3年12月16日（木）14：00～15：30（90分）Zoom開催

- ・参加者：115名（役員含む） アンケート回答：80名 回答率：69.5%

1、経験年数



2、研修を受けた感想は如何でしょうか



3、「ケアマネジャーが知っておくと便利な障がい福祉サービス豆知識」へのご意見等

- ・具体的な事例を聞くことができ、参考になりました。
- ・対象サービスや、利用までの流れ、相談機関が分かり良かった。
- ・障害福祉サービスをケアマネがケアプランに併記すれば、利用できることを学んだ。

- ・具体的に事例で困ったこと、対応の仕方等もっと知りたいと思いました。
- ・制度の説明わかりやすかった。障害サービス利用していた方が65歳になり介護保険のサービスに移行の際、無料だったものが、利用料が発生する説明をケアマネがしっかり理解していないと利用者、家族も混乱してしまう。障害事業所との連携が大事だと思う。
- ・とても分かりやすく参考になりました。また制度を見直す良い機会になりました。
- ・対象サービスや、利用までの流れ、相談機関が分かり良かった
- ・障害の制度のことは、みんなも分からないから勉強しながらやっているんだなど、少しほっとしたところがあります。みんなで勉強しながら、ケアマネジャー全体の知識の底上げをしてくれたらいいなと思いました。
- ・介護保険と障害の併用について。最近あまり併用する方がいなくて、介護5でなくても利用できることを改めて知りました。
- ・研修会は勉強になりました。ありがとうございます。
- ・障害サービスと、介護保険サービスを併用利用している利用者がいるため、お互い連携を取りながら本人の生活がより良くなるように支援していく必要がある。問題が起きた時に、利用者がどちらに相談をしても、連携が取れていれば情報が共有でき適切なサービスに繋がっていく。
- ・障害者手帳を持っていても介護保険が優先されるため、どういう時に併用して使えるのか。メリットがあるのか、家族から聞かれてもわからないことがある。過去に視覚障害の方を支援させていただいたふが、受給者証の更新等の申請もしましたが、慣れないため大変でした。研修に参加しわからないところは、専門家に聞いて自分のスキルアップにつなげたいとおもいました。
- ・介護のケアマネージャーでも障害のサービスを位置づけることが出来ることがわかり勉強になりました。ありがとうございました
- ・区、又は担当によって対応が違う事があります。浜松市としての決まりが出来ないのでしょうか。
- ・多職種連携といわれている中でとても参考になりました。法令等の根拠も確認の必要も感じました。
- ・神経難病の利用者さんを担当した時は、限度額を超えるところまでサービス利用がなく、長期入院となってしまう困らなかったのですが、経過が長くなると限度額を超える心配があったので、今後同じような方を担当した時は障がい福祉サービスの利用も念頭に、早めに対処しようと思いました。障がい福祉サービスを受けれる該当者やその流れ、相談窓口など分かり易く説明してもらえたので、とても参考になりました。
- ・障がい福祉サービスの利用や相談の情報、事例を通じた解説がとてもわかりやすかったです。
- ・少し前に、丁度自分の担当で介護との併用を実施したばかりだったため、再確認と振り返りが出来て、事業所の他ケアマネにも伝える事が出来ると思いました。
- ・グループワークでのテーマを決めてあれば話し合いしやすかったと思います。